

令和6年度

仙台東部道路

仙台東管内料金所地下通路設計

特記仕様書

令和6年4月

東日本高速道路株式会社
東北支社 仙台東管理事務所

目 次

第1章 総則

1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	管理技術者の資格要件	1
1-4	現場作業責任者の資格要件	2
1-5	照査技術者の資格要件	2
1-6	配置技術者	2
1-7	資料の貸与	2
1-8	計画工程表	3
1-9	関連工事等に関する事項	3
1-10	保安に関する事項	4
1-11	環境保全に関する事項	5
1-12	三者協議会について	5

第2章 業務細部に関する事項

2-1	適用すべき諸基準	5
2-2	現地踏査	5
2-3	調査ボーリング	6
2-4	土質地質調査 交通費・日当・宿泊費	6
2-5	国土地盤情報データベース検定	6
2-6	地下通路延伸設計	7
2-7	階段工箱抜設計	7
2-8	土留工設計	7
2-9	詳細図作成	7
2-10	打合せ	7
2-11	交通費・日当・宿泊費	8

第3章 補足事項

3-1	設計図書の変更及び追加について	8
-----	-----------------	---

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 仙台東部道路 仙台東管内料金所地下通路設計

1-1-2 路線名 仙台東部道路
三陸自動車道
仙台北部道路
仙台南部道路

1-1-3 履行場所 自) 宮城県岩沼市押分 (岩沼 I C)
至) 宮城県仙台市宮城野区中野 (仙台港北 I C)
自) 宮城県仙台市宮城野区中野 (仙台港北 I C)
至) 宮城県宮城郡利府町春日 (利府中 I C)
自) 宮城県宮城郡利府町加瀬 (利府 J C T)
至) 宮城県富谷市富谷 (富谷 I C)
自) 宮城県仙台市若林区三本塚 (仙台若林 J C T)
至) 宮城県仙台市太白区茂庭 (仙台南 I C)

1-1-4 主な履行内容

名 称	数 量	摘 要
現地踏査	1 式	
調査ボーリング	7 m	
調査ボーリング解析	7 m	
地下通路延伸設計	1 基	
階段工箱抜設計	1 基	
土留工設計	1 箇所	
詳細図作成	8 枚	
打合せ	1 式	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する、「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和5年7月版とする。

1-3 管理技術者の資格要件

1-3-1 管理技術者の経験

管理技術者の経験については、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-3-2 管理技術者の資格要件

共通仕様書1-7-1「管理技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-4 現場作業責任者の資格要件

共通仕様書 1-8-2 「現場作業責任者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-5 照査技術者の資格要件

共通仕様書 1-9-2 「照査技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-6 配置技術者

共通仕様書 1-11 の規定によらず、次のとおりとする。

当該業務にかかる入札前の競争参加資格申請書、参加表明書または技術提案書（以下「参加表明書等」という。）を発注者に提出した調査等にあたっては、管理技術者、現場作業責任者または照査技術者は、参加表明書等の「配置予定管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者の経験及び能力の資格・実績等、成績等の記載欄」に記載した者を原則として契約期間中配置しなければならない。なお、死亡、傷病、退職、出産、育児等やむを得ない理由により、配置することが困難となった場合は、その理由及び別に配置する技術者の氏名、資格及び業務経験等を記載した書面を付して監督員の承諾を得なければならない。なお、監督員の承諾を得て新たに配置する技術者は、原則として下記の要件を満足する者でなければならない。

- （１）当該業務の入札公告（説明書）に示す「管理技術者、現場作業責任者、または照査技術者に求めた資格及び業務経験」と同等以上の資格及び業務経験を有する者。
- （２）手持ち業務が当該業務の入札公告（説明書）で示されている場合は、手持ち業務件数及び金額を超えない者。

1-7 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いが監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
設計成果品	仙台南部道路 料金所地下通路設計	契約締結後	電子成果品 及び紙
設計成果品	仙台南部道路 料金所地下通路修正設計	契約締結後	電子成果品 及び紙
完成図	東北自動車道 仙台管内道路保全工事業務 料金所地下横断通路工事	契約締結後	電子データ (TIFF データ)
施設管理用図面	仙台東部道路 仙台東管内施設管理用図面 (R6.2 月版)	契約締結後	電子データ (DWG データ)
	三陸自動車道 仙台東管内施設管理用図面 (R6.2 月版)	契約締結後	電子データ (DWG データ)
	仙台北部道路 仙台東管内施設管理用図面 (R6.2 月版)	契約締結後	電子データ (DWG データ)

	仙台南部道路 仙台東管内施設管理用図面 (R6.2月版)	契約締結後	電子データ (DWG データ)
--	------------------------------------	-------	--------------------

1-8 計画工程表

1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-1 4-1 「作業計画書の提出」 (2) に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-6 「資料の貸与」 に示す資料の貸与時期及び共通仕様書 1-2 2 「打合せ」 に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

項 目	単 位	数 量	備 考
準備工	式	1	
現地踏査	式	1	
調査ボーリング	m	7	
地下通路延伸設計	基	1	
階段工箱抜設計	基	1	
土留工設計	箇所	1	
詳細図作成	枚	8	
打合せ	式	1	
報告書作成	式	1	

1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2 2 「打合せ」 に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1 4-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

1-8-3 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2 2 「打合せ」 に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-9 関連工事等に関する事項

発注者は受注者の調査等の実施及び発注者の発注に係わる第三者の施工する他の工事及び調査等が施工上密接に関連する場合において必要があるときは、その調査等の実施において、調整を行うものとする。この場合において受注者は、発注者の調整に従い、当該第三者の行う工事又は調査の円滑な施工に協力しなければならない。

1-10 保安に関する事項

受注者は自らの管理下にある調査用車両の運行にあたっては、事故等を未然に防止しなければならない。

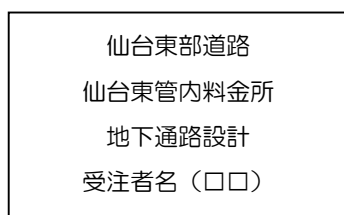
1-10-1 調査用車両の運行速度

一般道の人家連担区域等や高速道路上における運行速度は、法定速度若しくは規制速度を厳守するとともに、過積載の防止等法令を遵守するものとする。

1-10-2 調査用車両の区別

受注者は、調査用車両と一般車両の区別をするため、以下に示す調査用車両の標示と同等以上の標示板を設置するものとする。なお、標示内容の変更を監督員が指示した場合、受注者はその指示に従わなければならないものとする。

調査用車両標示板参考図



材質：耐水合板、強化プラスチック、

布製又はラミネート加工した印刷物等

寸法：取付位置、車両の安全性を損なわず、かつ識別可能な寸法

色彩：下地黄色、文字黒色

字体：丸ゴシック体（受注者名の文字の大きさは、他の文字より大きめにする）

□□：受注者車両の通し番号

1-10-3 標識等の設置

共通仕様書 1-36-1 「安全対策」に規定する安全対策を実施するにあたっては、必要とする箇所及び期間において、調査標示板、標識等の交通安全施設を設置するものとする。なお、調査標示板、標識及び交通安全施設等の設置にあたっては、調査開始前に設置場所及び設置内容について監督員と協議のうえ実施するものとする。

1-10-4 光通信ケーブル等損傷事故防止対策

(1) 光通信ケーブル等損傷事故の防止

受注者は、高速道路に埋設されている光通信ケーブル等管路の損傷事故を防止するために、埋設物近接箇所の工事の施工にあたっては、東日本高速道路(株)、KDDI(株)「光通信ケーブル等損傷事故防止マニュアル（令和3年7月）」（以下「マニュアル」という。）に基づき万全の措置を講じなければならない。

(2) 光通信ケーブル等損傷事故防止監理者

- 1) 受注者は、高速道路に埋設されている光通信ケーブル等管路の損傷事故を防止するため、工事の計画、現場指導等の強化を実施する専任の光通信ケーブル等損傷事故防止監理者を定め、監督員に通知しなければならない。

- 2) 光通信ケーブル等損傷事故防止監理者は、「マニュアル」の内容を十分理解し、光通信ケーブル等管路の損傷事故防止に関して万全の措置を講じられるよう作業員に安全教育の徹底を図り、指導及び監督を行うものとする。また、試掘時及び近接工事作業時に現場に立会い、事故防止に関する指導、監督を行わなければならない。
- 3) 光通信ケーブル等損傷事故防止監理者は、管理技術者及び現場作業責任者と兼ねることができるものとする。

1-10-5 保安に関する費用

本特記仕様書 1-9-2、1-9-3、1-9-4 に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。

1-11 環境保全に関する事項

1-11-1 砂塵等の防止

受注者は、調査用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。

1-11-2 騒音等に関する配慮

受注者は、調査に伴う調査用機械及び車両の騒音対策について、近隣の地域住民へ十分な配慮を講じて施工を行わなければならない。

1-11-3 環境保全に関する費用

特に定める場合を除き、環境保全に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。

1-12 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 適用すべき諸基準

共通仕様書 2-2-1 「適用すべき諸基準」に下表を追加する。

名称	発行元	発行年月日
施設工事共通仕様書	東日本高速道路株式会社	令和5年7月

2-2 現地踏査

現地踏査とは、本業務に必要な現地状況を把握するために行うものであり、主に以下の項目について調査するものとする。なお、貸与する過年度の完成図と現地状況に相違がある場合は、速やか

に監督員に報告するものとする。

- (1) 地下通路施工予定箇所及びアイランド、管理棟等の位置関係の把握
- (2) 貸与する管理用図面及びハンドホール開閉による埋設物位置の把握

2-3 調査ボーリング

2-3-1 ボーリング箇所

調査ボーリングは参考図に示す箇所で行うものとするが、地形地質踏査結果により調査実施位置を精査しボーリング箇所の見直しが必要であると判断した場合は監督員にこれを報告するものとし、その後の取扱いについては監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

2-3-2 調査ボーリング区分

調査ボーリング区分は下表に示すものとする。

種別・規格		単位	数量	コア種別	せん孔深度	せん孔方向
φ 6 6 mm	粘性土・シルト	m	5	オールコア	50m以下	鉛直下方
	軟岩	m	2	オールコア	50m以下	鉛直下方

土質地質区分に変更があった場合の費用については、監督員と受注者とで協議のうえ決定するものとする。

2-3-3 調査孔閉塞

調査ボーリング終了後、ボーリング孔を粘土等で閉塞するものとする。

2-3-4 給水

調査ボーリングにおける掘削は有水ボーリングで行うため、利府塩釜IC 内プラザ後方の水路から採水（給水ポンプ設置）をしながら実施するものとし、この費用については関連する契約単価に含むものとする。

2-3-5

調査ボーリングの打ち止め位置は、監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

2-4 土質地質調査 交通費・日当・宿泊費

土質地質調査 交通費・日当・宿泊費には土質調査の現場作業に従事する労務員すべての交通費・日当・宿泊費を含むものとし、現地踏査により現場作業の数量に大幅な変更が生じた場合、交通費・日当・宿泊費の増減に伴う費用については別途監督員と協議するものとする。

2-5 国土地盤情報データベース検定

共通仕様書 3-19 「国土地盤情報データベース検定」に示す国土地盤情報データベース検定は、調査ボーリング1本当たりの検定費用を2,000円（ボーリング責任者が地質調査技士の資格を有する場合に限る。）とする。なお、調査ボーリングの数量は1本とし、ボーリング本数の増減及び資格区分の相違に伴う請負代金額の変更は、監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

また、共通仕様書 3-19 「国土地盤情報データベース検定」に示す、登録するボーリングデータの公開区分を下表に示す。

位置	上下区分	ボーリング名	公開区分	備考
利府塩釜料金所	—	B r - 1	公開	

2-6 地下通路延伸設計

地下通路延伸設計とは、共通仕様書 5-2 を適用し、利府塩釜 I C 料金所の既設地下通路の延伸設計及び施工ステップ図、料金所アイランドに通じる昇降階段及び上屋の設計、料金所アイランドの延伸設計、延伸先端へのプロテクターの設置に伴う設計、既設舗装の撤去・復旧に係わる舗装設計について、それぞれの工事实施に必要な詳細設計、数量算出をいう。

地下通路延伸設計の検測数量は設計基数（基）とする。

2-7 階段工箱抜設計

階段工箱抜設計とは、共通仕様書 5-2 を適用し、仙台空港 I C 料金所の既設地下通路の箱抜き設計及び施工ステップ図、アイランドに通じる昇降階段、上屋の設計、料金所アイランドの延伸設計、延伸先端へのプロテクターの設置に伴う設計、既設舗装の撤去・復旧に係わる舗装設計について、それぞれの工事实施に必要な詳細設計、数量算出をいう。

階段工箱抜設計の検測数量は設計基数（基）とする。

2-8 土留工設計

土留工設計とは、三陸自動車道 利府塩釜料金所の地下通路延伸の施にあたり必要な土留工の設計を行うものである。

土留工設計の検測数量は、設計箇所数（箇所）とする。

2-9 詳細図作成

詳細図作成とは、共通仕様書 5-5-4 「詳細図作成」を適用し、利府塩釜 I C 料金所、利府しらかし台 I C 料金所、今泉 I C 料金所及び山田 I C 料金所において、参考図に示す長町 I C 料金所を参考にして、地下通路内の照明設備及び排水設備の割付図を作成することをいう。

名称	内容	枚数	作成難易度	備考
照明設備割付図	地下通路内で必要となる照明設備の配線計画や割付図を作成する。	4	普通	
排水設備割付図	地下通路内で必要となる排水設備の配線計画や割付図を作成する。	4	普通	

2-10 打合せ

2-10-1 打合せ場所

打合せ場所は、東日本高速道路(株)仙台東管理事務所で行うものとする。

2-10-2 打合せ回数

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め 4 回とする。内訳は技術打合せ回数が 1 回、設計打合せ回数が 1 回(当初打合せ回数は現地踏査に含む)とする。打合せの検測数量は 1 式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱い監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

2－11 交通費・日当・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・宿泊費・日当には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・宿泊費・日当を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費・日当の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

第3章 補足事項

3－1 設計図書の変更及び追加について

下記に示す事項については、本工事に追加する場合がある。これについて監督員が指示した場合、速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は監督員と受注者とで協議して定めるものとする。

- ・試掘工の追加。
- ・既設PAの駐車マス改築による図面作成業務の追加